

和歌山県教育委員会
教育長 宮崎 泉 様

今すぐ少人数学級の実施を求める職場要請書

平素より子どもたちの教育条件整備のためにご尽力下さり、ありがとうございます。

さて、少人数学級の実現を求める世論の急速な高まりを背景に、政府は義務標準法を改正し、5年計画で小学校を35人学級とする方針を決めました。2011年度に小学校1年生を35人に改正して以来10年ぶり、全学年の改善では実に41年ぶりの前進となります。

しかしながら、ただちに少人数学級が求められている中で、計画が5年と時間がかかることや文科省が当初実施するとしていた「30人学級」ではないこと、中学校、高校、障害児学校には変更がないこと、複式学級や障害児学級には触れられていないこと、十分な予算をかけず加配教員の転用で実施されることなど、数々の問題があり、私たちが待ち望んでいた少人数学級の実現とは大きな開きがあります。子どもたちの教育権保障のためには、一層の改善がただちに求められています。

つきましては、子どもの健康と安全、教育の充実のため下記事項について要請しますので、実現されますようお願いいたします。

記

- 1、国に対して、今すぐ30人学級を実施すること、中学校、高校も30人学級とし、障害児学校でも編成基準を改善すること、複式学級や障害児学級の編成基準を改善すること、加配教員の転用ではなく教員増員による改善とすることを求めること。
- 2、国の整備が行われるまでの間、県独自で30人学級を実施すること。せめて小学校3年生から6年生までを35人学級とすること。
- 3、県単独予算で教員を増員すること。

以上

2021年（ ）月（ ）日

和歌山県教職員組合

（ ）支部

（ ）学校分会